一般社団法人 奈良県中南和建設業協会

安全衛生パトロール

奈良県中南和建設業協会（吉井久尚会長）の安全衛生パトロールが13日、香芝市内の現場で行われ、安全対策の徹底と安全意識の更なる向上を呼びかけた。パトロールには、同協会の吉井会長、岡田聡、市山慎一両副会長ら役員13名が参加。葛城労働基準監督署から安全衛生課の榎俊太郎課長、奈良県高田土木事務所から奥田幸司所長、清嶋崇仁主幹、吉田尚起計画調整課長、中川和俊工務課長が参加した。

参加者による記念撮影、安全対策の徹底を誓った

労災防止へ安全対策徹底

行政と連携　改善点など情報を共有

吉井会長

この日のパトロールは、一般国道168号「香芝王寺道路」道路改良工事（無電柱化推進事業（都づくり））（香芝市北今市、高、上中）＝上村・上香特定建設工事共同企業体、工期＝令和5年4月3日～同7年3月31日、工事延長L＝450㍍、排水構造物工L＝873㍍、縁石工L＝835㍍、歩道橋N＝1式―を巡回。

出発前のミーティングで吉井会長は「労働災害防止対策の一環として安全パトロール活動を行っています。現場環境での指導などお願いします」と話した。

現場では、作業責任者から工事概要や主要工種工程表による進捗状況などの説明を受けた後、それぞれのチェックリストをもとに作業環境や機械設備などの現況を点検。パトロール巡回後は協会3階で講評会を行った。

奥田所長は今年度の事故発生件数に触れ、「県土マネジメント部発注工事で14件、うち高田土木事務所発注工事で4件の事故災害が発生している」と物損、公衆災害などの事故件数を示した上で「安全に対する意識を共有するためのよいパトロールとなった。講評で活発な意見交換を行い安全に対する更なる意識向上に繋げて欲しい」と挨拶。

奥田所長

榎課長

榎課長は「まず感じたことは整理整頓が行き届いた現場。交通量が多く、第三者への災害防止対策として交通誘導員や立ち入り禁止バリケードなどの対策がなされていた。また、日々実践しているKY活動にリスクアセスメントを取り入れたレベルアップを図ってほしい」とした。また、県内と葛城労働基準監督署管内の業種別労働災害発生状況や死亡災害事例などを示し、その概要を説明。足場等からの墜落・転落災害防止のポイントでは作業場の注意事項、一人親方等に業務を発注する際の必要事項などを解説し「安全第一」であることを訴えた。

岡田副会長

質疑応答で吉井会長は「働き方改革の推進が求められる中、益々経営環境が厳しくなっている。国土交通省に続いて奈良県でも点検していただいておりますが、現場環境改善費が反映されている案件が少ないように思う」と指摘し、その積み上げを要望した。

清嶋主幹は「他社の現場を見る良い機会になったと思う。人通りが激しく店舗が隣接する中、一般車両と工事区間を明確に分離するなど配慮が見受けられた。日中の点検であったが夜間の歩行者導線が気がかり」とし、夜間パトロールを促した。

講評後に意見交換を行い、さまざまな意見が飛び交った。

最後に岡田副会長が「会員個々の安全衛生に対する更なる意識の向上を図りたい」と述べ、安全衛生への対策を互いに確認し合う有意義なパトロールとなった。

パトロール終了後、協会３階で講評会を行った

現場環境を入念に確認した

私たちは地域社会の発展に努めます

会長　吉井久尚
副会長　岡田聡
〃　市山慎一
会計担当理事　杉本幸一
理事　石田勝昭
〃　森村ハルヨ
〃　磯部利充
〃　辻川誠彦
〃　髙田浩一
〃　上村智津子
〃　百々健士
〃　安田一幸
〃　福寿清和
〃　春山知昭
監事　米田安晴
〃　鞍本信夫
〃　笹井良浩
顧問　山遏敏治

一般社団法人 奈良県中南和建設業協会
事務局　大和高田市栄町三―一五
〒六三五―〇〇六四　TEL〇七四五―二二―八三三八
FAX〇七四五―五二―四五〇一